

最上川さみだれ大堰 20 周年記念パネル展開催 ～東北管内で初の堰カードを配布します！～

平成7年11月に河床の安定及び農業用水の確保を目的につくられた「最上川さみだれ大堰」は、完成してから平成27年11月で20周年をむかえます。これに合わせ、酒田河川国道事務所では『20周年記念パネル展』を開催します。

同時に「最上川さみだれ大堰」への理解を深めてもらうことを目的に、東北管内では初めての堰カードを作成しましたので、10月18日（日）より「最上川さみだれ大堰」への来訪者限定で堰カードの無料配布を行います。

- 開催日時：平成27年10月18日（日）～11月23日（月）
9時00分～16時30分
開館日 10月：18日（日）、平日のみ
11月：平日のみ
- 場 所：飽海出張所構内 フィッシュギャラリー
（酒田市大字柏谷沢字内山40-1最上川さみだれ大堰管理橋を渡った最上川右岸側）
- 実施内容
◆さみだれ大堰20周年記念パネル展（フィッシュギャラリー 2階）
◆堰カード配布
①配布開始日：平成27年10月18日（日）より
②配布場所：飽海出張所構内 フィッシュギャラリー 1階
③配布時間：9時00分～16時30分
※詳細は、別途参考資料をご覧ください。

発表記者會：酒田記者クラブ、鶴岡記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

〒998-0011 酒田市上安町一丁目 2-1

TEL: 0234-27-3331（代表）

副所長（河川） 森 禎一（内線204）

調査第一課長 川口 滋（内線351）

<参考資料> パネル展示内容（抜粋）

【最上川さみだれ大堰20周年記念】

最上川さみだれ大堰は全長209.5メートル 日本で最大規模のラバダム。

最上川が庄内平野をゆったり流れるために
最上川と堰
最上川の恵みをさらに活かすのが大堰の役割です。

洪水対策に役立ちます。
農業用水を供給します。

「ゴム堰ってどんな堰？」

最上川さみだれ大堰は、おなじみのラバダム（ゴムダム）です。堰にたまって、お水が堰の中央の開口から下流へ流れます。堰は、堰脚には鋼筋コンクリートでできていますが、お水が堰の中央の開口から下流へ流れるときは、お水の圧力で堰脚がたわみ、お水の圧力に負けてお水が堰の中央の開口から下流へ流れるようになります。お水の圧力がたわんだ堰脚を押し戻すことで、お水の圧力に負けないようにお水を堰にたまりやすくしています。お水の圧力に負けないようにお水を堰にたまりやすくしています。お水の圧力に負けないようにお水を堰にたまりやすくしています。

管理所からの操作で
立たせたり倒したりします

自然と調和するための工夫

魚の道・舟の道

魚の道が保たれます
魚にやさしい
緑豊かな河岸です
舟の道があります

平成24年湯水時 最上川さみだれ大堰が本領発揮

～庄内平野の3割10,700haの米の収穫に貢献！～

- 平成24年の夏は少雨：前年の8月の雨量は平均の25%、昭和12年の観測開始以来4番目の少なさ
- 最上川上流では平成6年ぶりとなる湯水→農業用水を20%節水
- さみだれ大堰でも平成7年の運用開始以来最小の流量を記録（8月5日：65m³/s）
- 8月の平均流量は過去5年平均の34%と非常に少なかった
- 8月以降の生育にとっても種ばらみ～出穂～登熟期にあたり、水が欠かれない大事な時期
- さみだれ大堰により最上川取水口と専修樋工では安定した取水を確保
- （※最上川取水口：かんがい面積5,669ha、専修樋工：かんがい面積5,034ha）

平成24年11月6日 山形新聞
さみだれ大堰本領
安定取水確保、庄内平野潤す

(^^-^^) 最上川さみだれ大堰に感謝・感謝の毎日です!...m(_)_m

最上川さみだれ大堰は、平成24年7月1日に完成しました。この大堰は、最上川の上流に建設されたもので、洪水対策と農業用水の供給に大きく貢献しています。また、魚の道と舟の道の確保にも努めています。この大堰の完成により、庄内平野の農業生産が安定し、地域の発展に大きく貢献しています。今後も、最上川さみだれ大堰の役割を最大限に発揮し、地域の発展に貢献していきます。

平成27年最上川水位状況

最上川水位は、平成27年7月の観測開始以来、最も低い水位を記録しました。これは、前年の8月の雨量が平均の25%、昭和12年の観測開始以来4番目の少なさによるものです。最上川上流では平成6年ぶりとなる湯水→農業用水を20%節水し、最上川さみだれ大堰でも平成7年の運用開始以来最小の流量を記録（8月5日：65m³/s）しました。8月の平均流量は過去5年平均の34%と非常に少なかったため、8月以降の生育にとっても種ばらみ～出穂～登熟期にあたり、水が欠かれない大事な時期となりました。最上川さみだれ大堰により、最上川取水口と専修樋工では安定した取水を確保し、庄内平野の農業生産が安定しました。

平成27年最上川さみだれ大堰の利水効果

- 前年の7-8月の雨量は平均の25%、中でも7月の雨量は1937年の観測開始以来4番目の少なさ
- 最上川上流では平成6年ぶりとなる湯水→農業用水を20%節水
- さみだれ大堰でも平成7年の運用開始以来最小の流量を記録（8月5日：65m³/s）
- さみだれ大堰により、かんがい面積約10,700haに安定した取水を確保
- 最上川さみだれ大堰の完成により、庄内平野の農業生産が安定し、地域の発展に大きく貢献しています。

東北管内初！最上川さみだれ大堰カードの配布を開始します。

- ◆堰・ダムカードは、堰やダムへの理解を深めてもらうことを目的に平成19年度から国土交通省や水資源機構等の管理施設で配布を始めました。今では各地のダムカードを集めている方も多く、人気があります。
- ◆堰・ダムカードでは、大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものにしており、おもて面は堰の写真、うら面は堰の形式や概要・堰を建設したときの技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。
- ◆堰・ダムカードは、平成27年4月1日現在、全国の国土交通省、水資源機構、県の補助ダム等の418施設で配布中です。東北管内では、国土交通省、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県のダム、40施設で配布中です。
- ◆最上川さみだれ大堰についても、東北地方整備局管内では41番目となる堰カードを発行することにしました。
- ◆堰のカードとしては、東北管内で初めての発行となります。
- ◆平成27年10月18日（日）より、最上川さみだれ大堰への来訪者限定で堰カードを無料配布します。

<おもて面>



<うら面>

最上川さみだれ大堰カード DATA

位置 河口より28km地点
左 岸：東田川郡庄内町清川地内
右 岸：酒田市柏谷沢地内

河川名 最上川水系最上川

本体 ゴム引布製起伏堰 膨張方式：空気膨張式
径間長：41.9m×5径間=209.5m
堰高：2.7m ゴム厚：18.5mm
魚道形式：深阻流版式魚道（設置位置：堰の両岸）
舟通し形式：鋼製ローラーゲート2門

管理者 国土交通省
本体着工/完成年 1989/1995年

特殊情報
「ゴム堰のしくみ」
わが国最大規模のラバーダム（ゴム引布製起伏堰）である。ラバーダムは膨らませない時は河床と同じ高さであるが、そこにフロアで空気を送り込み、起立させる仕組みになっており、完全に起立させた時の高さは2.7メートルになる。

「最上川さみだれ大堰の役割」
立谷沢川から流れ込む土砂によって最上川の河床が上昇し、洪水が起こりやすくなることから溜まった土砂を取り除く必要がある。一方で、取り除くと最上川の水位が下がり合流点より上流部からの取水ができなくなる矛盾を解決するために建設された。最上川さみだれ大堰完成後は、安定した取水を確保し、庄内平野の水田を潤し、豊かな実りをもたらしている。

「施設見学」
併設されているフィッシュギャラリーでは魚道を行き来する魚の様子を観察することが出来る。

【堰カードの配布場所・住所】

国土交通省 酒田河川国道事務所 飽海出張所（フィッシュギャラリー）
〒999-6811 酒田市柏谷沢字内山40-1

【アクセス方法】

JR陸羽西線清川駅より徒歩20分
山形自動車道鶴岡ICより車で40分

【配布時間】

10月18日（日）、平日 9時00分～16時30分
※酒田市にある酒田河川国道事務所では配布しておりませんのでお間違えないようお願いします。

【問い合わせ先】

酒田河川国道事務所 飽海出張所 tel:0234-57-2077